日中シンクロマチック

KONICA C35 FD

の使い方

各部の名称

巻き上げレバー
ノーコードフラッシュコンタクト
アクセサリークリップ
距離基準マーク
フィルムカウンター
シャッターボタン
巻きもどしクランク
巻きもどしノブ（裏ぶた開閉兼用）
フラッシュ接続ソケット
ストラップ取付け金具
ファインダー窓
ガイドナンバーリング
CdS 受光窓
B（バルブ）
セットレバー
シャッター
速度リング
セルフタイマーレバー
ヘキサノンレンズ
フォーカスレバー
KONICA
C35
FD
KONICA HEXANON 38mm F1.8 LENS JAPAN

巻き取りスプール
スプロケット
アイピース
裏ぶた
フィルム室
巻きもどしボタン
三脚ねじ
ガイドナンバーセットピン
フィルム感度セットレバー
水銀電池室
フィルム感度目盛
SAKURA COLOR

撮影準備から
シャッターを
きるまで

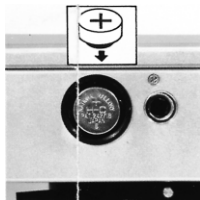
1. まず水銀電池を入れます

コニカC35FDのEEは、指定の水銀電池によって働きます。●使用する水銀電池は、1.3V、ナショナルH-C、東芝H-C、マロリーPX-675、エバレディーEPX-675などです。

●水銀電池は普通の使用で１年以上もちます。明るい所でファインダー内の指針が動かなくなったら、新品と取り替えてください。

●電池は乾いた布でよく拭いてから入れてください。

●カメラに使用している水銀電池は完全シールをしていますので、カメラをご使用中に電池の中身が外に出ることはありませんが、身近な水銀汚染をなくすために、新しい水銀電池をお求めのときは、必ず使用済の水銀電池を持参し、カメラ店または電気店にて現品と引換えでお求めください。

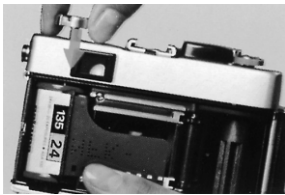
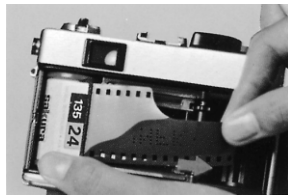
１）カメラ底部の水銀電池室のふたを硬貨などで左に回してはずし、付属の水銀電池を入れてください。

２）水銀電池はかならず⊕のマークが見えるようにに入れ、ふたをしっかりねじ込んでください。

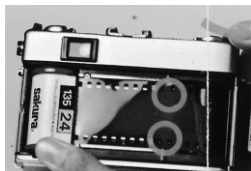
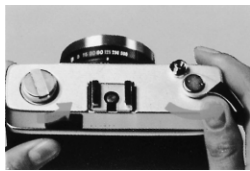
●⊕⊖をまちがえるとEEは働きません。

2. 裏ぶたを開いて フィルムを入れます

●コニカC35FDには、35㎜サイズのサクラカラーII(プリント用)、サクラカラーR-100(スライド用)、サクラSS(黒白プリント用)をご使用ください。サクラカラーIIには、20＋４枚おとくな24枚撮りがあります。どれも感度はASA100です。

●直射日光をさけ日陰でフィルムを入れてください。

１）巻きもどしクランクを起してノブを引き出し、さらに強く引くと裏ぶたがあき、フィルムカウンターがＳになります。

２）クランクを引いたままフィルムをフィルム室に収め、ノブおよびクランクを元の位置にもどします。

３）フィルムを少し引き出し、先端を巻き取りスプールのミゾに差し込みます。どのミゾに入れてもかまいません。

DIN	15	(16)	(17)	18	(19)	(20)	21	(22)	(23)	24	(25)	(26)	27	(28)	(29)	30
ASA	25	(32)	(40)	50	(64)	(80)	100	(125)	(160)	200	(250)	(320)	400	(500)	(640)	800

４）シャッターボタンを押してから巻き上げレバーをいっぱいに回し、フィルムの穴がスプロケットの歯に両側ともかみ合っていることを確かめて、裏ぶたを閉じます。

５）フィルム巻き上げとシャッターボタンを押す動作を繰返し、フィルムカウンターに１を出します。フィルムが正しく送られていると巻きもどしクランクが回ります。

６）フィルム感度セツトレバーに爪をかけ、押し込むようにしながらレバーを動かし、使用フィルムの感度に合わせます。

７）これで準備完了、撮影にかかれます。フィルムカウンターは巻き上げごとに１目盛進み、撮影枚数を示します。

3. EE 撮影

コニカC35FDのEEは、速度優先式といって、あらかじめシャッター速度をきめておき、カメラを被写体に向ければ、絞りが自動的に適正に調節されるしくみです。

１）シャッター速度リングを回し、シャッター速度を指標にセットします。一般に明るいところではややい速度(数字の多い方)、暗いところではおそい速度(数字の少ない方)を選んでください。屋外では125(1/125秒)、明るい室内では30(1/30秒)に合わせておけば、まず問題ありません。

２）カメラを被写体に向ければ、明るさに応じて絞りが自動的にしぼられ、つねに適正露出が得られます。

●シャッター速度は目盛の中間位置では使えません。かならずクリック位置に合わせてください。

●撮影前にレンズキャップをはずすことをお忘れなく。

4. ピント合わせと構図の決定、EE 露出の確認

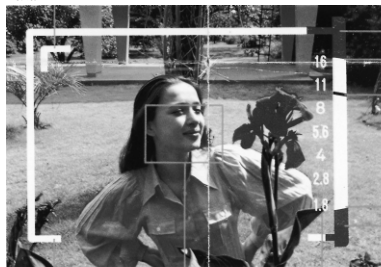
近接修正マーク

ブライトフレーム

絞り目盛

指針

露出オーバー警告マーク
指針がこの部分にあるときは、そのまま写すと明るく写り過ぎることを示します。シャッター速度目盛をはやい速度の方へ回し、指針を赤マークから離してください。NDフィルターを用いるのも一方法です。

適正露出範囲
指針が適正露出範囲内にあるときはEEが働いて、正しい露出の撮影ができることを示しています。指針が示す目盛は、そのときの絞り値ですから、これによって撮影のデータを知ることができます。

距離計二重像部

ピントが合っていないとき　ピントが合っているとき

1）ファインダーをのぞきながらフォーカスレバーを回し、中央の明るい四角の部分の二重像を一致させれば、ピントが合います。
2）ブライトフレーム(明るい枠)で囲まれた内側が写る範囲ですが、1m以内のときは近接修正マーク内に被写体を入れてください。

露出アンダー警告マーク
指針がこの部分にあるときは、そのまま写すと暗く写ってしまうことを示しています。シャッター速度目盛をおそい速度の方へ回し、指針を赤マークから離してください。おそい速度でも指針が適正露出範囲に入らない暗いところではフラッシュ撮影をしてください。

5. フラッシュ撮影

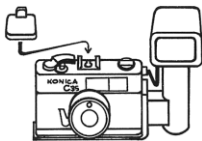
暗い室内などでは、コニカコンパクトストロボX-14、X-20またはコニカキューブフラッシュを使って、フラッシュ撮影をしてください。明るく美しい写真が写せます。

１）ガイドNo.セットピンを動かして、使用フィルムの感度とお手持ちのフラッシュ装置に合わせてガイドNo.を指標にセットします。

ASA100のフィルムを使うとき合わせるガイド№は、

・コニカX-14では14、
・コニカX-20では20、
・コニカキューブフラッシュでは28です。

●ガイドNo.数字の中間の点は

●コード式のフラッシュご使用の場合は、かならずアクセサリークリップに固定するか、ブラケットタイプのフラッシュでは、付属のフラッシュ切替えアダプターを使用しコード先端をカメラ側面の接続ソケットに差し込んでください。

２）コニカX-14、X-20またはコニカキューブフラッシュをアクセサリークリップに差し込めば、フラッシュ撮影に切替わり、シンクロマークがファインダーにあらわれます。
●シンクロマークはストロボによる日中シンクロのための指標ですが、フラッシュ撮影のためのシグナルでもあります。
３）コニカX-14、X-20では、シャッター速度を何分の１秒に合わせても構いませんが、コニカキューブフラッシュでは、1/30秒またはそれ以下のシャッター速度をお使いください。
４）ファインダーをのぞいてピントを合わせれば、距離に応じて絞りが適正にしぼられ、つねに美しいフラッシュ撮影ができます。(オートフラッシュマチック機構)

6. 日中シンクロ撮影

シャッター速度を調節して指針をシンクロマークに重ねます

逆光で窓際の人物を写すときなど、そのままEE撮影すると人物の顔が暗くなってしまいます。こうした場合、ストロボで簡単に人物もバックも明るくきれいに写せるのが、日中シンクロマチックです。

１）コニカX-14、またはX-20をアクセサリークリップに差し込んでそれぞれの使用フィルムに対するガイトNo.をセットしてください。

２）ファインダー視野内にあらわれるシンクロマークはピント調節(距離)に応じて上下に動きます。

３）被写体にピントを合わせた後、ファインダーをのぞいたままシャッター速度リングを回し、指針をシンクロマークに重ねます。

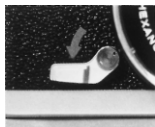
これでストロボ光と自然光の明るさのバランスがとれた、適正露出の美しい日中シンクロ撮影ができます。

●コニカキューブフラッシュ(MF級バルブ)は、日中シンクロには使えません。日中シンクロができるのはストロボの場合だけです。

●日中シンクロは、人物までの距離によって絞りをきめ、バックの明るさによって、その絞りに応じたシャッター速度をきめるのが順序です。
コニカC35FDのシンクロマークは、この複雑な約束を、指針を重ねる１操作で一挙に解決しました。
●指針がシンクロマークに重ならないとき
①指針がマークより上にあって1/500秒にしても重ならないときは、近づいてピントを合わせ直してください。
②指針がマークより下にあって1/8秒にしても重ならないときは、離れてピントを合わせ直してください。
ただし、X-14では５m、X-20では７m以内がより効果的です。
●指針がマークの上または下にあるとき、次の写真のようになります。

Ⓐ指針が上に離れるほど、人物に当るストロボ光が弱くなります。

Ⓑ指針が下に離れているとオートフラッシュマチックに切替わるためバックの風景が暗くなります。

7.セルフタイマーとバルブ露出

セルフタイマー

セルフタイマーレバーを下の方へいっぱいに回してセットし、シャッターボタンを押すと約10秒後にシャッターがきれます。

●カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、適正露出になりませんからご注意ください。

●撮影前に巻き上げレバーの操作をお忘れなく。

●セルフタイマーレバーは、セット後、手でもどさないでください。

バルブ露出

バルブセットレバーを押しながらシャッター速度リングを回し、B目盛を指標に合わせるとB(バルブ)露出ができます。B露出はシャッターボタンを押している間シャッターが開いていますから、夜景や花火など、暗いところでの長時間撮影に使われます。

他の目盛にもどすときは、シャッター速度リングを普通に回せばもどります。

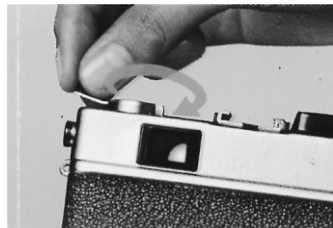
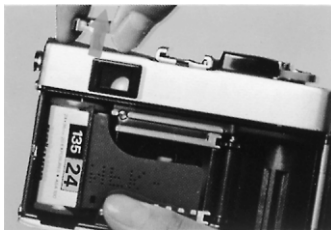
8.シャッターをきるとき

カメラは両手でしっかり持って軽く顔に押しつけ、両ひじを体につけるようにして安定した姿勢をとり、シャッターボタンを静かに押してください。
ヨコ位置だけでなく、タテ位置も練習してカメラぶれを起さないようにしましょう。
●1/30秒以下の低速シャッターを用いるときは、なるべく三脚とケーブルレリーズを用いるほうが確実です。

全部
写し終わったら

●撮影の最後に巻き上げレバーが途中で止まったら、巻きもどしボタンを押してレバーを巻き上げ、もとにもどします。

9. 巻きもどしてフィルムを取り出します

１）フィルムのきまった枚数を写し終ったら、カメラ底部の巻きもどしボタンを押し込みます。

２）巻きもどしクランクを起して矢印の方向に回すと、フィルムがパトローネに巻きもどされます。

3）手ごたえが急に軽くなって、巻きもどしボタンの回転が止まったら、裏ぶたをあけフィルムを取り出します。

現像プリントはお早目にどうぞ。カメラ店にご依頼のとき「サクラカラー現像所で」とご指定ください。

コニカ C35FD のおもな性能

型式／35 ㎜判レンズシャッター式EEカメラ(日中シンクロマチック機構内蔵)
画面サイズ／24×36 ㎜
レンズ／ヘキサノン38 ㎜ F1.8　４群６枚　カラーダイナミックコーティング
焦点調節／直進ヘリコイド繰出し式　回転角45°至近距離0.9 m
シャッター／コパル速度優先絞り制御式自動シャッター　Ｂ・1/8〜1/500秒　倍数系列等間隔目盛Ｘ接点(Ｍ級バルブは1/30秒以下)　セルフタイマー内蔵
露出調節／CdS使用のEE機構による自動露出調節電源に1.3V水銀電池JIS　H-C型１コEE連動範囲／ASA100でEV4.7(F　1.8・1/8秒)〜EV17(F16・1/500秒)ASA800では低輝度EV1.7まで連動可能　フィルム感度目盛ASA25〜800　DIN15〜30ファインダー／採光式ブライトフレーム　倍率0.55×　近接修正マーク、絞り目盛、露出警告マーク、シンクロマーク表示
距離計／一眼二重像合致式連動距離計　補色鏡使用　有効基線長14.2 ㎜
フラッシュ／発光器の装着でEEからフラッシュに自動切替えのオートフラッシュマチック機構　ストロボで日中シンクロ撮影可能
ガイドNo.目盛　7　10　14　20　28　40　56
(ASA100・m)　ノーコードフラッシュコンタクトとフラッシュ接続ソケット付
フィルム巻き上げ／トップレバーによる１操作巻き上げ　巻き上げ角132°　引出し角40°セルフコッキング　二重露出防止　順算式自動復元フィルムカウンター　クランク式巻きもどし　巻きもどしボタン自動復帰
フィルム装てん／簡単確実なコニカEL方式
フィルター／ねじ込み式　ねじ径49 ㎜
大きさ・重さ／112×71×61 ㎜　410 g

仕様、外観、価格については予告なく変更することがあります。